

# 「日本の気候変動2025」の紹介 – 青森地方気象台 –

- 文部科学省と気象庁は、日本の気候変動について、最新の観測結果や科学的知見をとり入れた『日本の気候変動 2025 一大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書』を令和7年3月26日に公表しました。

公開ページ：気象庁HP <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

- 「日本の気候変動2025」は、観測結果（過去～現在）と将来予測（未来）を簡潔に示した「**本編**」のほか、以下の資料で構成しています。
  - **概要版**：「本編」を簡略にプレゼンテーション形式でまとめた資料。勉強会や講演等での利用を想定。
  - **詳細編**：より詳細な情報（根拠・参考文献を含む）が記載された資料。研究者や個別の分野で対策を検討する専門家の利用を想定。
  - **都道府県別リーフレット**：地域ごとの気候変動の観測結果・将来予測を概観できる、見開きのリーフレット。



# 「日本の気候変動2025」 都道府県別リーフレット - 青森県の気候変動 -

## 気温の上昇

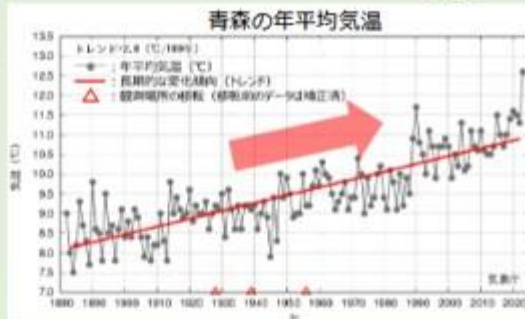
### これまでの変化

100年あたり  
**2.0℃**上昇※

※右のグラフのデータから算出した  
100年あたりの平均的な上昇量です。

最新の気候傾向は、  
A-PLAT「気象観測  
データの長期変化の  
傾向」をご覧ください。

<https://adaptation-platform.naa.go.jp/data/jma-02a/index.html>



### 21世紀末の予測

熱中症等のリスク増加

青森県の年平均気温は、20世紀末と比べて、

2℃上昇シナリオで約**1.4℃**、4℃上昇シナリオで約**4.7℃**上昇

年間真夏日日数 8日 → 約**14日** / 約**43日**

年間熱帯夜日数 0日 → 約**2日** / 約**24日**

日数は左から、青森県平均の20世紀末の観測値、21世紀末（2℃ / 4℃上昇シナリオ）の予測値

真夏日は日最高気温が30℃以上の日です。  
熱帯夜は夜間の最低気温が25℃以上の日を指しますが、ここでは更道上、日最高気温が25℃以上の日を熱帯夜として扱っています。

## 雪の減少

### 21世紀末の予測

東北日本海側の  
年最深積雪は、20世紀末と比べて、

2℃上昇シナリオでは約**31%**、

4℃上昇シナリオでは約**68%**減少

海面水温の上昇について、日本海中部、三陸沖が示す海面は、気象庁ホームページ「海面水温の長期変化傾向(日本近海)」を参照ください。

各アイコンは情報の空間スケールを示します：

ある地点の情報

## 大雨の増加

### これまでの変化

近年の豪雨事例の中には、  
地球温暖化に伴う  
水蒸気量の増加も影響  
したと評価しているものが  
あります。

最新の気候傾向は、  
A-PLAT「気象観測  
データの長期変化の  
傾向」をご覧ください。

<https://adaptation-platform.naa.go.jp/data/jma-02a/index.html>



### 21世紀末の予測

傘をさしていてもぬれる  
ような降り方です

東北地方の1時間降水量30mm以上の年間発生回数は、  
20世紀末と比べて、

2℃上昇シナリオでは約**1.7倍**、4℃上昇シナリオでは約**3.1倍**に増加

土砂災害や洪水等の災害リスク増加

### 温暖化の程度に応じた予測

20世紀末には100年に一回しか起こらなかった大雨※1がより頻繁に

| 東北地方<br>の予測     | 温暖化の程度 | 1.5℃上昇      | 2℃上昇        | 4℃上昇        |
|-----------------|--------|-------------|-------------|-------------|
|                 |        | 2023-2042年頃 | ※2          |             |
|                 | 20世紀末  | 2018-2037年頃 | 2032-2051年頃 | 2075-2094年頃 |
| 100年当りの<br>発生頻度 | 1回     | 約1.9回       | 約2.2回       | 約4.8回       |

観測データ※3による推定では、  
100年に一回の大雨（日降水量）  
は、青森では約214mmです。  
温暖化が進むと、こうした大雨が  
より頻繁に発生します。

※1 ここでは日降水量に基づいた結果を示します。  
※2 2031-2050年頃に2℃上昇となる可能性はあります。  
※3 1976-2023年のうち利用可能な観測データです。

詳しい情報は、気象庁ホームページ  
「観測現象発生頻度マップ」をご覧ください。



都道府県スケールの情報

地方スケールの情報